

帯状疱疹ワクチンの定期予防接種のお知らせ

令和7年4月より、帯状疱疹予防接種が定期接種になりました。

つきましては、対象の方へ接種のご案内をいたしますので、本用紙と同封の説明書、リーフレットをご一読いただき、接種をご検討ください。

ただし、この通知が届いた方であっても、過去に帯状疱疹ワクチンを接種している方は、原則対象外となります。

【帯状疱疹について】

帯状疱疹は、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより起こります。神経に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

また、帯状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

【対 象 者】 令和7年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方、また、100歳以上の方

【接種回数・接種費用】

ワクチンの種類	接種回数	補助額 (接種1回につき)	自己負担額 (接種1回につき)
生ワクチン	1回	3,000円	接種費用から3,000円を引いた額
組換えワクチン	2回	6,000円	接種費用から6,000円を引いた額

※接種費用は、接種を受ける医療機関によって異なりますので、医療機関に直接お問い合わせください。また、診察のみの場合は問診料として、920円をご負担ください。

【予 約 方 法】 接種を希望する医療機関に直接予約し、予診票を保健センターへ受け取りにお越しください。（予診票は、筑北地域内の医療機関でもお受け取りいただけます。）

《接種が受けられる医療機関》 ◇玉井医院（67-2231） ◇鳥羽医院（67-2435）
◇松林医院（67-2008） ◇その他、かかりつけ医

【当日の持ち物】 ①接種券（黄緑色） ②マイナンバーカードまたは健康保険証
③記入した予診票

带状疱疹ワクチン予防接種の注意事項

【接種を受けられない方】

次のいずれかに該当する方は、接種を受けることができません。

- ① この予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがある方
- ② （生ワクチンの接種を希望される場合）病気や治療によって、免疫が低下している方
- ③ 発熱している方
- ④ 重篤な急性疾患にかかっている方
- ⑤ 上記のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師が判断する方

【接種にあたり注意が必要な方】

次のいずれかに該当する方は、接種にあたって注意が必要なので、あらかじめ医師に相談してください。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ けいれんを起こしたことがある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
- ⑥ （生ワクチンの接種を希望される場合）輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。
- ⑦ （不活化ワクチンの接種を希望される場合）血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方

【接種後の注意】

- ① 接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください。）
- ② 接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
- ③ 接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療を受けてください。
- ④ 医療機関から渡される「予診票の本人控」は接種証明書となりますので、大切に保管してください。